

第 19 回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 平成 8 年 7 月 3 日（水）
 14：00～16：00
2. 場 所 委員会会議室
3. 議 題 (1) 前回議事要旨の確認について
 (2) 宇宙産業の活性化について
 (3) 宇宙環境利用部会報告について
4. 資 料 委19-1 第18回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委19-2-1 衛星産業の活性化・要望について
 委19-2-2 ロケット産業の活性化について
 委19-3 宇宙環境利用の新たな展開に向けて

第18回宇宙開発委員会（定例会議）
議事要旨（案）

1. 日時 平成8年6月26日（水）
10:30～12:00
2. 場所 委員会会議室
3. 議題
 - (1) 前回議事要旨の確認について
 - (2) M-Vロケット1号機/MUSES-Bの打上げ計画について
 - (3) ALFLEX計画について
 - (4) TRIA5号機打上げについて
 - (5) 固体ロケットモータ指令破壊試験について
 - (6) 計画調整部会構成員について
 - (7) 第21回日・ESA行政官会合の結果について
4. 資料

委18-1	第17回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委18-2	M-V-1号機打上げについて
委18-3-1	小型自動着陸実験（ALFLEX）の実施計画
委18-3-2	小型自動着陸実験（ALFLEX）の安全について
委18-4-1	宇宙実験用小型ロケット5号機打上げ計画書（案）
委18-4-2	宇宙実験用小型ロケット（TRIA）5号機の打上げに係る安全対策について
委18-5	固体ロケットモータ指令破壊試験
委18-6	計画調整部会構成員（案）
委18-7	第21回日・ESA行政官会合の結果について
5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理	野村民也
宇宙開発委員会委員	末松安晴
〃	長柄喜一郎

 関係省庁

文部大臣官房審議官（学術国際局担当）	中西 鈞 治（代理）
通商産業省機械情報産業局次長	一柳 良 雄 〃
運輸省運輸政策局次長	龍野 孝 雄 〃
郵政大臣官房技術総括審議官	岡 井 元 〃

 事務局

科学技術庁長官官房審議官	大熊 健 司
科学技術庁研究開発局宇宙政策課長	千 葉 貢 他

6. 議事

(1) 前回の議事要旨の確認について

第17回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（資料委18-1）が確認された。

(2) M-Vロケット1号機/MUSES-Bの打上げ計画について

文部省宇宙科学研究所により、資料委18-2に基づき、軌道上での大型アンテナ展開を始めとする工学実験及び電波天文観測を実施する科学衛星MUSES-Bを打ち上げるM-Vロケット1号機の打上げについて、機体の姿勢制御の基準となる慣性計測装置（IMU）の調整に時間を要するため、打上げを平成8年度夏期から冬期に延期する旨報告があった。

これに関し、委員より、冬期の打上げ計画の調整状況、来年度以降の計画への影響について質問がなされた。また、委員より、初号機であることから打上げに向けて万全を期して取り組むようにとの発言があった。

(3) ALFLEX計画について

科学技術庁航空宇宙技術研究所及び宇宙開発事業団より、資料委18-3-1に基づき、現在、オーストラリアのウーメラ飛行場で6月28日の実験開始に向けて準備が進められている小型自動着陸実験（ALFLEX）の実施計画について説明が行われた。

また、事務局から、資料委18-3-2に基づき、航空宇宙技術研究所及び宇宙開発事業団では、オーストラリア政府の承認を受けた「ALFLEX Safety and Operations Plan」に従って実験を行うことにより、安全を確保することとしている旨説明が行われた。

これに関し、委員より、成功率の定義、具体的な飛行計画、実験開始の条件、現地の気象状況、日本で本実験を行える飛行場の有無等について質問があった。

(4) TR-I A 5号機打上げについて

宇宙開発事業団より、資料委18-4-1に基づき、宇宙実験用小型ロケット（TR-I A）5号機の打上げ計画について説明が行われ、続いて事務局より、資料委18-4-2に基づき、TR-I A 5号機の打上げに係る安全対策は基本的に4号機と同じものであり、問題がない旨の説明が行われた。

これに関し、委員より、関係機関への打上げの通報のタイミングに関する質問があった。また、委員より、打上げに際しては万全を期して取り組むようにとの発言があった後、本打上げ計画が了承された。

(5) 固体ロケットモータ指令破壊試験について

宇宙開発事業団より、資料委18-5に基づき、平成8年8月23日～30日に北海道苫小牧東部工業基地において、H-II Aロケット固体ロケットブースタに使用するCFRP（炭素繊維強化プラスチック）製のモーターケースを用いた固体ロケットモータの指令破壊試験を行い、破壊状況、飛散物、爆風圧等を計測する試験を行う旨の説明があった。

これに関し、委員より、警戒区域、具体的な試験内容等についての質問がなされた。また、委員より、安全に十分注意して試験を行うようにとの

発言があった。

(6) 計画調整部会構成員について

事務局より、資料委18-6に基づき、計画調整部会構成員に経団連宇宙開発推進会議企画部会長 下村 尚久氏、日本放送協会番組制作局学校放送番組部長 中村 季恵氏を追加することについて説明があり、決定された。

(7) 第21回日・ESA行政官会合の結果について

事務局より、資料委18-7に基づき、6月17日～19日にパリで行われた、日本・ESA（欧州宇宙機関）間の宇宙分野に関する情報交換及び協力の検討を行うことを目的とする第21回日・ESA行政官会合の結果について、1）アドホック会合において、宇宙ステーション利用、応用衛星技術、宇宙輸送、地球観測、宇宙科学の各分科会の進捗状況が報告され、全体会合への報告案として了承されたこと、2）アドホック会合の下に、日本によるESAの通信実験用衛星（ARTEMIS）の打上げ、同衛星の日本のミッション利用に関する分科会を設置することが了承されたこと、等の報告があった。

これに関し、委員より、日欧間の衛星通信実験計画であるGAMMAプロジェクトに関する質問があった。

以上